

味の決め手は、自分次第。

～最高に美味しい1年に～

令和8年4月30日(木) No.2

「私のせいじゃない」を越えて一想像力のバトンを繋ぐー

4月20日と21日の道徳の授業では、いじめの問題を「加害者」と「傍観者」の視点から深く見つめ直す資料を読みました。物語の主人公は、かつて軽い気持ちで同級生のランドセルを傷つけてしまった過去を持つ少年です。中学生になり、目の前からはその「傷」が消えても、彼の心の中には消えない罪悪感が残り続けています。小学校に入学する妹の弾むような笑顔を見た瞬間、彼は気づかされます。「自分があの日傷つけたのは、単なる物ではなく、誰かが大切に思いを込めて贈った『喜び』そのものだったのだ」と。

この授業を通して、生徒たちが紡ぎ出した「いじめのない世界にするために必要なこと」を共有します。

1. 「心の傷」の重さを知ること

いじめは目に見える物だけでなく、相手の心、そして相手を大切に思う家族の気持ちまで深く傷つけます。一度ついた心の傷は、謝ればすぐに消えるものではありません。「面白半分」という言葉の裏側に隠された、取り返しのつかない重みを一人ひとりが自覚することが、いじめをなくす第一歩です。

2. 「傍観者」という立場を問い直す

いじめが起きるとき、私たちはつい「自分は直接やっていない」「周りもやっていた」と、自分を無関係な場所に置こうとしてしまいます。しかし、黙って見ていること、関わらないようにすることは、本当に関係がないと言えるのでしょうか。「私のせいじゃない」という壁を壊し、当事者意識を持つ勇気が求められています。

3. 背景にある「想い」に想像力を働かせる

相手には自分と同じように、大切に育ててくれた家族がいて、宝物にしている思い出があります。資料の中のランドセルが、おばあちゃんからの贈り物だったように、目の前の友だちがもっている背景にまで想像力を広げること。その「想像力」こそが、優しさの正体かもしれません。

中学生という多感な時期、集団の中で「NO」と言うことや、自分の過ちを認めることは決して簡単ではありません。しかし、授業後の生徒たちの表情からは、自分の中にある弱さと向き合い、他者の痛みを自分の痛みとして捉えようとする真剣な眼差しが感じられました。

ご家庭でもぜひ、お子様と言葉を交わしてみてください。幸いです。

🎉5月の行事予定🎉

5月 9日(土) ～17日(日)	県選手権予選大会	5月20日(水)	尿検査(予備日)
5月11日(月)	体育大会結団式	5月22日(金)	体育大会予行練習
5月14日(木)	東広島市陸上大会	5月27日(水)	第42回体育大会(給食あり)
5月15日(金)	体育大会練習開始 (スポーツドリンク🍷)	5月28日(木)	体育大会予備日 ※27日実施の場合、6時限授業
5月19日(火)	尿検査	6月 3日(水) ～4日(木)	歯科検診 PM(歯ブラシ持参)

GW課題について

5月2日(土)～5月6日(水)に取り組む課題をドリルパークで配信します。

タブレットを自宅に持ち帰り、配信された課題に取り組めます。

4月からの学習を復習する機会とし、充実したGWにしましょう。



日焼け止め等の申し出について

生徒指導心得に記載の通り、日焼け止めクリームやハンドクリーム、リップクリーム、制汗シートについては、無香料・無着色のものとし、許可及び使用場所の指示を受けて使用することができます。

その他、健康上配慮が必要なことがありましたら、お気軽に担任又は学校までご相談ください。よろしくお願いいたします。

